

2020(令和2)年度

第12期活動計画書

2020年4月1日から2021年3月31日まで
特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン

I. 基本方針

設立から12年目となる本年度は、新たな脅威である新型コロナウイルスの発生によって幕を開けたため、継続実施の予定は根本的な見直しが迫れるところからのスターとなった。

コロナウイルス蔓延が進むなどの社会情勢を注視しながら、場合によっては事業規模の縮小や中止などの可能性を考えなければならない。

しかし、すでに取り組んできた「地域価値の向上」を目指した「持続可能な開発」の実現によって、より一層疲弊する地域の充実化に挑戦する方針に変わりは無く、活動の現場においては柔軟かつスピーディーに対応することを心がける。

特に新規事業である紙 SNS-かわす事業の本格的な推進により、被災者の社会参加や地域交流を促進することは当NPOの大きな使命と認識している。

また、スターカードゲームの継続的販売や、防災BOOKや当NPOのスキルを活かした活動も継続するなど、未曾有の厳しい社会情勢に立ち向かいながら各種プログラムをブラッシュアップして、ピンチをチャンスに変える努力を続ける。

◇活動ビジョン【地域の新しい価値を創り、向上させる】

1. 復興地域の各種団体や住民と培ってきたネットワークをもとに、地域に新しい人的価値を創り出す。
2. つながりをもとに個人個人の価値をクローズアップして、暮らしのチカラが向上する活動を通じてさらに新しい資源的価値を創り出す。
3. 日々の暮らしの中にある人的・物的資源をつなぎ合わせて地域内循環経済を生み出し、持続可能な地域経営に取り組む。

1) 特定非営利活動にかかる事業

I. 人づくり事業

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
① 人材つなぐプロジェクト	個別に連携する地域づくりに係わる住民や関係者をつなぎ、データベース化を促進するWEBサイトを設置して、充実化する。	登米市ほか、地域住民 100,000人	50
② 若手後継者育成プロジェクト	「高校生ボランティア」の育成は地域づくりと自主活動としてのボランティア育成を中心に進め、ライブなどの自主企画ができるように指導する。年間12回ワークショップ。 「本会スタッフ」の育成をOJTと外部研修を組み入れて実施し、次期リーダーとして育成を図る。 1名	高校生延べ 160名 計180名	100
③ 地域防災プロジェクト	自主防災組織や行政区と連携し、防災マップ作成と地域の暮らしに役立つマップ製作を通じて、起こりうる災害への備えとともに、地域の魅力発見を支援する。 自主防災組織の会議、訓練など延べ4回	登米市内 50人	100

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
④環境教育プロジェクト	現代の過剰な消費生活がおこす地球の自然環境問題について、小学生の時期に実地で学び、体験することで人間と環境のかかわりや、豊かなふるさとの価値についての認識を高めるとともに、日常生活の地球への影響を学ぶことで、地球にやさしい暮らしのありかたを学ぶために実践する。 水辺の生き物等調査から水質改善の実践 6回	登米市内の小学校及び周辺地域 延べ120人	300
⑤星空教育プロジェクト	従来の星空観察会から「星空まつり」として内容を充実化し、広く内外からの参加を求められるプログラムとする。 内容は星空観察、ミニプラネタリウム、スターカードゲーム大会などを同時開催して一般の方でも気軽に楽しめる内容とする。 また、公民館などとの連携開催も増やすため内容充実に努める。 本会自主開催(星空まつり)2回 連携開催5か所6回 南三陸ホテル観洋スターパーティとの連携 年間10回程度、講師として当NPOスタッフを派遣する。	一般住民 1,000名	300
⑥石森コミュニティスクール支援プロジェクト	石森小学校のコミュニティスクール支援のための、活動応援団体である「石森っこサポーターズ」の事務局として、連携調整を図りながら管理運営を担当する。 事業実施及び学校行事への参加 9回	登米市中田町石森小学校区 60名	50

II. 場づくり事業

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
①コミュニティカフェたばごやプロジェクト	地域コミュニティの活性化、交流人口の増加を目的として、石ノ森章太郎ふるさと記念館前の行政施設を利用したコミュニティカフェ「Cafeたばごや」を運営。 地元住民で、専門的な資格を有する人や、手に技を持っている方などが講師となって、各種ワークショップを開催、同様に地元の手作り作家など展示会、小さな経済と人的交流を生み出している。 さらに2階はギャラリーとして、各種団体の活動紹介や地元デザイナーによる作品の製作、展示販売を実施する。 ワークショップ 40回開催 ギャラリー展示販売 延べ200日間	全国、登米市内 ワークショップ 350名 ギャラリー 2,200名 計2,550名	3,500
②ミニライブの実施による交流プロジェクト	手創り市の関連イベントとして高校生が自主開催するライブの支援。ボランティアとして登録している高校生は、本部運営、ライブ会場運営に参加予定。 ミニライブ開催回数 5回程度 開催が無いときは、プレイランドとして、子どもたちの見守り場所として有料で実施する。	登米市内、宮城県内、全国 延べ600名	450
③ナイン・タウン交流農園プロジェクト	農村文化を継承、地域活性化につなげるために、遊休耕作地を耕し年間を通じて、野菜や大豆等の植え付けを実施。 地域住民にも開放された交流農場とし、収穫物による交流プログラムを企画、実施する。味噌作り等のプログラムを実施する。 耕作作業30日 延べ70人。 実施プログラム10回	登米市中田町 延べ150人	200

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
④ 石森地域活性化事業実行委員会プロジェクト	登米市中田町石森地区の活性化をめざし、2014年に開設。地域住民と共にまちづくりプログラムの企画や運用に取り組み、地域課題解決を行う。 小学校のコミュニティスクール活動と連携し事業協力している。 年間22回実施及び参加	登米市中田町石森地区 335人	150

Ⅲ. 地域経済づくり事業

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
① SATO YAMA マatchingプロジェクト	<p>・昨年度はカタログ化が進んだこともあり、今年度は地域資源をマッチングさせて具体的な価値向上策を実践する。</p> <p>1. 空き家の活用による起業、創業支援 町家ナントカナカマチをビジネスマッチングのインキュベーション施設として活用を推進する。 起業家育成:セミナー3回</p> <p>2. ビジネスマッチングによる経済創造 現在までの取り組みから、企業・事業所との連携、学校・公民館との連携から生まれた商品の販売促進を加速化させる。 新規プログラム:年間3件創出</p> <p>3. Asobay!プログラムの充実化 スターカードゲームの製造販売。年間100セット目標</p> <p>4. 紙 SNS—かわすによる被災者支援及び地域人材と魅力発掘事業の継続(配布目標1回30,000部×6回=180,000部)</p>	<p>登米市を中心とした、周辺市町村 延べ60人</p> <p>マッチング対象事業 延べ3件</p> <p>かわす配布エリア人口約40万人</p>	4,500
② 手創り市で地域内循環経済づくりプログラム	<p>「石森いろいろ市場」やワークショップを通じて、地域住民の収入拡大を図り、地域内循環経済を生み出すことにより、地域価値の向上を図る。</p> <p>石森いろいろ市場:年間12回開催 目標直接経済計算@20千円×30店×12回=約720万円</p>	<p>出店者延べ360店舗 来場者延べ5,400人</p>	600
③ 夢未来南三陸事業運営支援プロジェクト	<p>NPO法人夢未来南三陸への活動強化支援活動、経営アドバイスみなさん館、石泉ふれあい味噌工房PRの支援と、地域経済のさらなる好循環を創出。</p> <p>年間5回(日)活動支援、コンサルティング。</p>	<p>南三陸町 出品者と地域住民4,579人</p>	50
④ 商品開発・企画プランニング	<p>南三陸町及び登米市地域にある素材(地場産品)を活かした商品化・ブランド化に取り組む。</p> <p>みなさん館やCafé たばごや、その他催事での出張販売等、多様な窓口で取り扱うことで販路開拓に貢献。</p>	<p>南三陸町・登米市 10種類開発、マッチング</p>	1,000
⑤ 資源活用経済創発プロジェクト	<p>空き家、空き施設などを活用して、小さいけれども新たな価値を生み出し、地域内循環経済を生み出している。</p> <p>将来的には移住や、地域経営の資金化ができるようなモデル事業となるように時間をかけて育て、成果を生み出す内容に育てたい。</p>	<p>登米市内 関連団体・個人 3,000人</p>	800

(4) 受託事業

石森地域活性化事業実行委員会より運営業務受託

石森っ子サポーターズ事務局受託

2. その他の事業 特になし